

(株)ニッポン 2022年3月期の連結業績および次期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		配当金
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭/1株
2022年3月期	321,317	111.4	11,282	108.8	14,270	112.7	9,327	108.0	38.00
2021年3月期	288,324	—	10,370	—	12,659	—	8,636	—	36.00

(注) 2021年3月期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。なお、2021年3月期の対前期比率は、遡及適用が行われたため記載しておりません。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、ワクチン接種の普及により経済活動正常化の動きも見られましたが、新たな変異株の発生により感染が再拡大するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、デリバリーサービスの伸長や内食の増加といった、巣ごもり需要の拡大等、個人消費が大きく変化していることに加え、原材料価格高騰の影響が懸念されております。

当社グループでは、コスト削減や販売の強化を軸に既存事業をより強固なものとするため、今後成長が見込まれる分野に対しては積極的な投資を行い、未曾有の事業環境下においても柔軟に取り組むことで事業基盤強化に努めてまいりました。

また、本年2月に、愛知県知多市の用地への新たな製粉工場建設を発表いたしました。併せて神戸甲南工場の設備増強を行い、生産体制の再編を進めてまいります。この度の再編によって、当社の臨海工場比率は現在の83%から95%に引き上がり、原料調達コストの削減につながります。更に、新工場では、これまで蓄積した技術力に最新の自動化技術を組み合わせることで生産性を高めるとともに、自然災害に強く、省エネ・環境を含めSDGsに配慮した最先端の製粉工場を目指しております。

環境保護の取り組みにおいては、食品ロスの削減に資するために、家庭用パスタの賞味期限表示を「年月」表示に順次変更しております。他にも、家庭用冷凍食品においてPEFC（森林認証）紙など環境に配慮した原料による紙トレイや、無漂白の木材パルプを使用したeco紙トレイの使用、更に、一部の家庭用小麦粉の包装形態を紙パッケージに変更するなど、様々な取り組みを行っております。

なお、昨年7月のサイバー攻撃によるシステム障害の発生によって、ステークホルダーの皆さまには多大なご迷惑をお掛けいたしました。当社では再発防止に向け、情報セキュリティ対策を強化したうえで、本年1月には主要な基幹システムの復旧を完了させました。

当連結会計年度の業績は、システム障害に係る諸費用を特別損失に計上したものの、冷凍食品類が家庭内での内食需要の高まりにより好調に推移しているほか、業務用食品及び中食事業の需要が前年の低迷から大きく回復しました。その結果、売上、利益ともに前年を上回り、売上高は3,213億1千7百万円（前期比111.4%）、営業利益は112億8千2百万円（同108.8%）、経常利益は142億7千万円（同112.7%）、親会社株主に帰属する当期純利益は93億2千7百万円（同108.0%）となりました。

< 当期の配当金 >

当期末の配当につきましては、本年2月25日に公表いたしましたとおり、これまでご支援いただきました株主の皆様へ感謝の意を表すため、1株あたり2円を加えて20円とさせていただきます。これにより、年間配当金は既に実施させていただきました中間配当金とあわせて1株につき38円となります。

< 次期連結業績予想 >

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		配当金 円 銭/1 株
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2023年3月期 第2四半期(累計)	173,000	109.8	4,600	78.4	5,700	77.4	3,900	74.5	19.00
通 期	355,000	110.5	10,100	89.5	12,200	85.5	8,300	89.0	38.00

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の懸念が完全には払拭できない状況が当面続くものと思われま。

また、原油価格及び原材料価格の高騰に加え、ロシア・ウクライナ情勢の推移等もあり、世界情勢の不透明さが増しております。

このような状況においても、当社グループは名実ともに総合食品企業としての地位を確立するため、連結売上高5,000億円、連結営業利益250億円の企業規模への成長を目指します。そのためのマイルストーンとして、本日、当社ホームページにて公表いたしましたニッポングループ「経営理念」、「経営方針」に関するお知らせにありますとおり、収益基盤を強化しながらオーガニック成長で売上を積み上げるとともに、インオーガニックで成長の底上げを進め、5年後の2026年までに連結売上高4,000億円、連結営業利益150億円の達成を目標としております。

また、今後も既存事業の基盤強化や生産能力増強等を通じて多様なライフスタイルに対応するとともに、当社グループの強みを活かしながら成長分野への積極的な経営資源の投下を今後も継続していくことにより、グローバルな事業拡大や新たな事業創出を行い、成長を実現させていきます。

2023年3月期の連結業績は、売上高3,550億円、営業利益101億円、経常利益122億円、親会社株主に帰属する当期純利益83億円を見込んでおります。次期の配当金につきましては、1株につき年間38円を予定しております。

以 上